

1988	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
7	•	•	•	•	•	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	•	•	•	•	•	•

# 備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。  
 そなえる…用意する、そろえる、用心する  
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。  
 そなえ…したく、用意、警戒、防御  
 備品。設備。備蓄。備員。備忘。備忘。  
 そなわる…準備ができる、身に付く  
 ●●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!



かわさき  
 防災広報紙

NO.

47

昭和63年6月30日発行  
 発行●川崎市  
 編集●土木局防災対策室  
 〒210 川崎市川崎区宮本町1番地  
 TEL.(044)200-2111内線2841

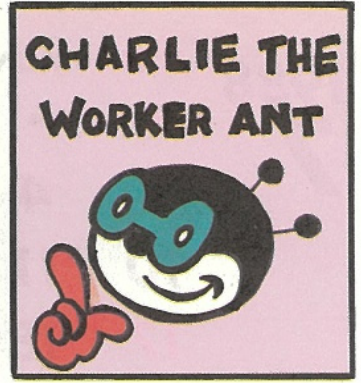
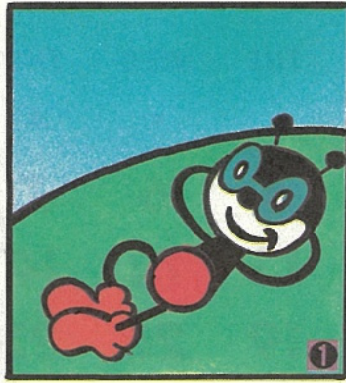
●毎月15日は川崎市民地震防災デーです。

楽しいことがいっぱいあるとこころには、  
 危険もいっぱいある。

「海水浴客、波にのまれて行方不明」  
 夏になると悲しいニュースが新聞にでます。  
 山でも、川でも、残念ながら事情は同じ。  
 家を離れて遠出すると、住み慣れた町では考えもつかない危険に出会うことがあります。  
 津波に限らず、潮の流れや、落雷、霧など、ふだん都市で生活している人は、  
 どうしてもその恐しさを見すごしやすい。  
 これから夏の計画を立てようとしている人にまず覚えてほしいのが、次のことです。  
 自然に親しむということは、その素晴らしさを味わうことばかりでなく、  
 その危険性もよく知ること。  
 漁師は、海の恐怖を誰よりも理解しています。  
 正しい知識を身につけてから、  
 夏休みを楽しんでください。







# 防災Q&A 2

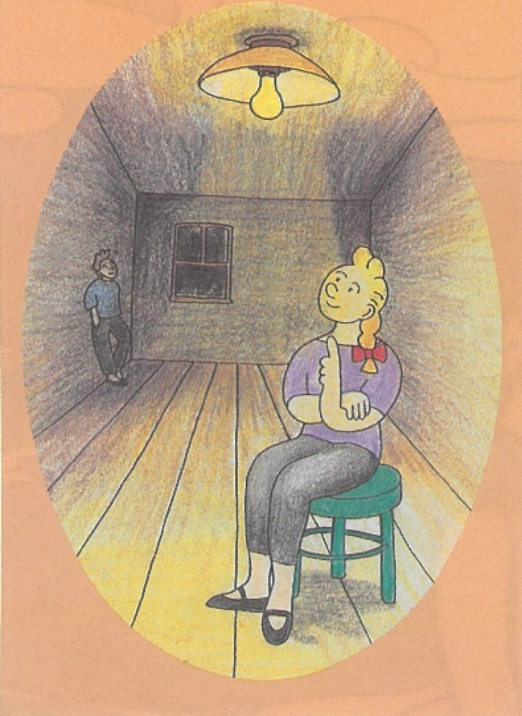
## 問 マグニチュードと震度はどう違うのですか？

**答**

両方も地震の大きさを表わしているのですが、マグニチュードは地震そのものも持っているエネルギーの大きさであり、震度はそれぞれの場所での揺れの大きさです。したがって、ある地震についてマグニチュードの値は1つで、震度は観測地点により違った値で表わされることになります。

これを電球に例をとると、電球の明るさ(100Wとか60Wなど)がマグニチュードで、1mとか2m離れた場所での明るさが震度に相当します。

ですから、マグニチュードの大きな地震が遠くで起これば震度は小さく、マグニチュードが小さくとも近くで起これば震度が大きくなり、被害の出る可能性があります。



## 予告

### 世帯別地震安全性総合診断のお知らせ

あなたの家は地震のとき安全ですか。地震による被害は、単に建物や家具、塀などの破損や倒壊だけではなく、地震後の出火、周囲からの延焼、避難途中の事故、さらには被災後の家族の健康管理、家庭経済への重圧など長期間、広範囲にわたります。

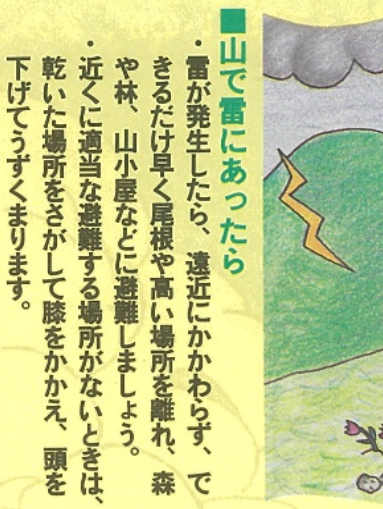
川崎市では、独自に開発した手法により、市民の皆さんの世帯ごとに地震に対する安全性を総合的に診断します。

詳しくは、「備えるNo.48(来月号)」をご覧ください。一世帯でも多くの方が診断を受け、家庭の地震対策のために役立てて下さるようお願いいたします。



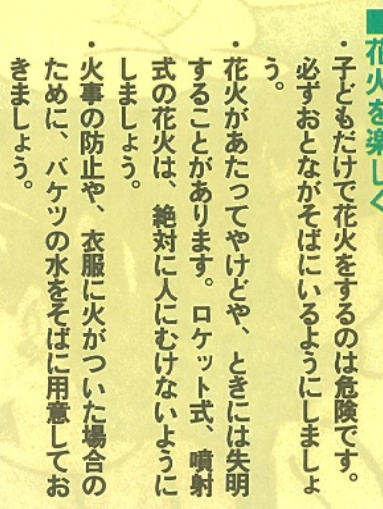
### 海水浴場で地震にあったら

- 地震を感じたら、津波のおそれがあるので山や高台、それがなければ鉄筋コンクリート造りの建物に避難しましょう。
- 近距離で地震がおこると、津波注意報、警報の伝達よりも早く津波が来る可能性があります。係員の指示に従って、すみやかに避難しましょう。
- 津波は一回だけで終わることはないので、波がひいてもすぐにひき返さないで、津波注意報、警報の解除を確認するまで避難した場所にとどまりましょう。



### 山で雷にあったら

- 雷が発生したら、遠近にかかわらず、できるだけ早く尾根や高い場所を離れ、森や林、山小屋などに避難しましょう。
- 近くに適当な避難する場所がないときは、乾いた場所をさがして膝をかかえ、頭を下げてうすくまりましょう。



### 火花を楽しむ

- 子どもだけで火花するのは危険です。必ずおとながそばにいるようにしましょう。
- 火花があたってやけどや、ときには失明することがあります。ロケット式、噴射式の火花は、絶対に人にむけないようにしましょう。
- 火事の防止や、衣服に火がついた場合のために、バケツの水をそばに用意しておきましょう。

# 頭の中にも、旅の身じたく。

## 夏休み中の安全

夏休み中には、家を離れて遠出する機会が多くなります。日程や荷物をチェックすると同時に、災害や事故にあわないように、安全のための知識も身につけて出発しましょう。

旅先では、ふだん私たちの生活している町とは違った危険があります。海辺にいたら、津波に注意しましょう。山にいたら、雷に注意しましょう。また、夏の夜の火花はともきれいですが、ちよつと油断すると、事故につながりかねません。わずかな注意が身を守ることとなります。夏休みを無事故で楽しくすごしましょう。

## 体験談 47

### 13人の子供達のご冥福を祈る

男鹿市戸賀加茂青砂 大友真悦さん

私は旅館のかたわら漁師もやっている。5月26日の午前中、桜島の少し沖で網をさしていた。

昼近くになったので帰って来たが、その途中船が変な振動をするのでスクリーンを点検したが、何も異常はなかった。

私が港へ入ったとき、あの子供達を乗せた車がやって来た。この時は海にまったく異常はなかった。

港には石川幸美氏と長男の幸治君が船へ網を積んでいた。船がごとく今ひどい地震があったというので、はじめて地震のことを知った。

何分か話をしていろいろうちに、朝が20センチ程度引いたが、この位では大きな津波もないだろうと話をしてしたが、とりあえず船のスクリーンとカジを揚げておこうと思いついた。港の海水が盛り上がり、船が揺れ、波に追われて夢中で走った。

走っている途中、第一波が引いたら、子供2人が岩にしがみついているのを見たので、とにかく助けなければと思い、子供のいる海中へ向かって走った。

その途中、大友一雄氏とあったので、船よりも子供を助けるのだと2人で走り、第二波が来る寸前助けることが出来た。

海上を見ると、子供達が無数頭を浮かべて沖合に流されているので、すぐ港へ走り、自分の船を降ろそうとしたが、機械が波のため使用が出来ず、すぐ近くで石川氏親子がまだ危険なので船を出していなかったが、すぐ出すようたのみ、3人で協力し、波の

行方不明者の捜索は27日、28日と続き、28日昼頃最後の子供が発見され、結果として13人の子供達が津波の犠牲となった。

地震の直後、私が港へ帰ったときに来た車に乗っていた子供達が車から降りると同時に生死をさまようとは、人間の運命の不思議さはまったくわからないものである。今日も13人の子供達の冥福を祈っている。